

# 街路樹再生指針検討委員会 検討マップ

## 目標

身近で愛される街路樹を未来の子どもたちへ

### 街路樹の課題

- 大径木化・老朽化による影響
  - 老朽化などによる落ち枝や倒木の発生
  - 大径木化による歩道への影響 (根上り、歩道空間圧迫など)
  - 信号機等の交通安全施設への影響
- その他の要因による影響
  - 害虫対策などによる樹形の崩壊
  - 重複している植栽(公園などの施設の植栽)
- 厳しい財政状況の中での維持管理
  - 少子高齢化の影響
  - 維持管理費の低減
- ボランティアの抱える問題
  - 活動者の高齢化
  - 後継者がいない
  - 地域の理解が得られない

選択と集中

### 基本方針(案)

#### 方針1 ともに作りともに育てともにつなぐ 街路樹の魅力づくり

美しい緑があり、彩り鮮やかな花々が咲いているような場所に人は集まりたいと感じます。街路樹は、このような場所づくりに必要な役割を担っています。魅力的な街路樹のある風景を創出し、未来の子供たちへ継承するためには、行政と市民が一体となって街路樹づくりに取り組む必要があります。この取り組みに携わる市民の力と、行政の質を高めた管理を組み合わせることで、街路樹の持つ新たな魅力と特色を生み出し、より親しみのある愛される街路樹づくりを目指します。

- 市民に愛され、まちのシンボルとなる  
風格ある街路樹づくり
- 花や地被類などを織り交ぜた  
市民に親しまれる緑花づくり

#### 方針2 安全・安心な街路樹づくり

街路樹の再生を実現するため、抱える課題解決に取り組み、まず市民の安全を守り、快適な環境づくりの軸となる健全な街路樹をつくることが求められます。

- 街路樹の効果を効率的に発揮させるため、道路の構成と周辺環境に応じた街路樹の撤去や更新などの整理を行います
- 安全に最大限配慮した街路樹管理を行います

### 街路樹管理の方向性と手法(案)

#### 特色ある 景観形成への 取り組み

- 歴史・風土を問わず豊かな街路樹
  - ・自然樹形仕立ての豊かな緑陰を形成
  - ・誰もが誇りを持つシンボル並木づくり
- 地域で見守り、育てる緑の街並み
  - ・市民、事業者、行政の合意形成を図る場の設定
  - ・地域の想いを反映させた特色ある景観づくり

#### 市民協働の 基盤づくりへの 取り組み

- 地域との協働活動の推進
  - ・「花のまち」をPRする事業の展開
  - ・街路樹への関心や愛着が向上するような市民参加型の事業の展開
  - ・沿道緑化の推進
- 街路樹のつなぎ手づくり
  - ・街路樹の未来への「つなぎ手」の育成
  - ・ボランティア(パートナー)の支援や活動の場の創出
  - ・活動者の意欲向上を図る情報発信

#### 適正な管理

- 既存ストックの整理
  - ・撤去・更新を含む既存ストックの整理
  - (安全で快適な歩行空間の確保、メリハリのある効率的な管理を実現するため)
- 管理の質の向上
  - ・街路樹の樹形再生
  - ・PDCAサイクルによる持続可能な管理運営
  - ・剪定講習会などによる管理技術向上

#### 安全性の確保

- 倒木・落ち枝事故の防止
  - ・街路樹診断による危険因子の早期発見・対応
- 大径木等への対応
  - ・大径木・老朽木の計画的な更新撤去
  - ・根上りの防止
- 交通事故の防止
  - ・車両や歩行者の支障となる枝などの撤去
  - ・低木の管理高見直しなどによる視認性の改善

### 政策の転換

